



広島城北高等学校サッカー部OB会
広島市東区戸坂城山町1-3 広島城北学園内 〒732-0015
電話 082-229-0111 FAX 082-229-0112



私語の Play Hard Together! Smile Hard Together!

44回生 小林 圭介

先日教育実習で広島城北に帰った。久しぶりに最上段グラウンドに行くと、フェンスの所に大きな旗が2旗掲げてあった。私の時代には、旗と言えは「Play Hard Together! Smile Hard Together!」だったので非常に驚いてしまった。ただ、この旗は試合の時のみ掲げられる大変崇高な旗であった。それほど貴重な旗は今でも虫ビンでツギハギがされているのだろうか。ちなみに、「この「Play Hard Together! Smile Hard Together!」は旗だけでなくステッカーやカップにも見受けられる。この「Play Hard Together! Smile Hard Together!」はそれほど重要な言葉なのだと思えることができる。

高校サッカーで何を学んだのかを聞かれれば、「礼儀」や「マナー」「当たり前」を当たり前に行う」等を挙げることができるが、私がその中でも最も影響を与えていると思うのは、この「Play Hard Together! Smile Hard Together!」である。一度もこの言葉のことを宮本先生に聞いていないのでいつできたのか、どういう意味が込められているのか、知ることはなかった。ゆえに、勝手ながら、この言葉、この旗にはどういう思いが込められているのか、私なりに解釈してみようと思う(もし正式な解釈があれば教えていただきたい。以下はあくまでも私の個人的解釈である)。



そもそも「旗」というものにはどういう意味があるのだろうか。「旗を上げる」「旗を振る」「旗を巻く」等の慣用語が頭の中をよぎるが、共通して言えるのは「旗=目標、方向、スローガン、モットー」である。そこに書かれているものは、構成員なら全員が常に胸に秘めていなければならない、常に意識しておかねばなら

ないことである。つまり、広島城北サッカー部は常に「Play Hard Together! Smile Hard Together!」を目標にして、方向として進まねばならないのではなからうか。それでは言葉の解釈を行ってみよう。「Play」はまぎれもなく「サッカーをする」だ。どのようにするのかといえば「Hard Together」つまり「一緒に、激しく一生懸命に」である。前文は「一緒に、激しく一生懸命サッカーをしよう!」ということであろうか。問題は「Smile」以下である。



一文目で「サッカーをしよう」と言い、そしてどうしたいのか、どうなりたいのか、ということがこの二文目にあるのだ。それは「Smile」である。サッカーをして、そして「笑いましょ」と言っているのだ。ここに広島城北サッカーならではあるもの、が隠されているのではないだろうか。サッカーをする仲間と一緒に、激しく一生懸命にサッカーをする。それで終わりではない。一緒にサッカーをすること、笑顔になりたいのである。声を立てて笑うのではなく、心の底から笑顔になるということだ。赤ん坊の笑顔を見ると心が休まるのと同じように、広島城北サッカーが目指すサッカーは、サッカーを通して笑顔にさせることなのだ。重要なことだが、試合の時にこの旗を掲げていた。ということは、この「Hard Together」は、自チーム(広島城北)の仲間だけだけでなく、相手チーム、ひいてはその試合を見ている方々全ての人にも言わんとしているのではないだろうか。つまり、「相手チームの皆さん、ご覧になっていてる全ての方々、一緒に激しくサッカーをしましょう(見ましょ)」、(そして)一緒に一生懸命笑顔になりましょ。と言おうとしているのだ。そこにはフェアプレーの精神が宿っており、正々堂々と戦いたいという思いが宿っていると見える。以上が私なりの「Play Hard Together! Smile Hard Together!」の解釈である。和訳するならば「一緒に、激しく一生懸命サッカーをしよう!」(そして)一緒に、激しく一生懸命笑顔になろう!」であろうか。やはり和訳では

自分にとっての最上段

45回生 中村 俊哉

こんにちは!45回生の中村俊哉と申します。僕はこの春城北を卒業して神戸大学発達科学部に入学しました。岩井先生から依頼をいただき上手くかけるか不安に思っていたのですが、嬉しかったので書いてみようと思いましたが、僕は文章を書くのがとても苦手なので読みにくい文章になると思います。が許してください。

今、僕は神戸大学体育会サッカー部に入部し、高校時代とあまり変わらないような部活中心のそれなりに充実した生活を送っています。僕が大学でも部活をやろうと決めたのは理由があります。それは高3の時の選手権です。僕は総体で引退したので選手権には残った同級生や後輩の応援に行っていました。その時試合に出ていたメンバーは、すごく気合が入り気持ちのこもったプレーをしていて僕が現役だった時よりもかなり上手くなってました。その試合で応援団とホントにたくさん保護者の方々に応援されながら、必死になって戦っていた選手たちが僕の目にはとても輝いて見えました。試合が終わった後ベスト8進出が決まり、試合に出ていたメンバーと、応援していたメンバーと一緒に喜んでるのを見ていて、自分もまたこんな感じでみんなでも熱くなれることをやりたいな、そしてまだまだサッカー上手になりたいなと強く思いました。だから大学でも部活をやろうと決めました。なので大学サッカー本気でやって、最上段に帰ったときに少しでも成長した姿を見せることができたかなと思っっています。

なく原文がしっくりくる気がする。何度も言うが、これは私の個人的解釈である。今、私は大学でサッカーをしていない。フットサルもしていない。大学では海外インターンシップを運営するアイセックという学生NPO団体で活動している。その中で、多くの企業の方や所謂社会人の方とお会いする機会に恵まれた。企業の方に提案をしに行くことも多い。その度に思うのが、一方的な思いだけでは「共感」してくれないというものだった。相手のことを思い、「一緒に何かやりましょ」としてその楽しさを分かち合いたましょ」という提案の際に受け入れてくださることが多かったと思っっている(企業様のご厚意でのご協力には感謝してもしきれないほどである)。また、多くの仲間と

僕はこの最上段に「帰る」という表現が好きです。最上段では6年間サッカーをしてきました。その6年間でホントにたくさん学ばせてくれた。経験しました。僕たちの代は中学のときも高校のときもなかなか試合で勝つことができなかったのですが、その分どんな試合でも勝てたらすごく嬉しかったし、区予選を突破できたときや県大会出場がきまったときはホントに最高でした。また、サッカーについてだけでなく、物事についてのいろいろな考え方やとらえ方も最上段でたくさん学ばせてくれました。人間としても成長できたと思えるとても充実した6年間でした。ほんとに最上段にはたくさんの思い出がつまっています。それは僕だけでなく、OBの皆様も同じだと思います。だから初蹴りや合宿であんなにたくさんOBが帰ってくるのだと思います。初蹴りの時になるといつも城北サッカー部はたくさんの人に愛されているなど実感していました。僕がこんなにも貴重な経験ができたのは、たくさんの方を助けてくれた城北スタッフの先生方、今の最上段を築き上げてきたOBの皆様、いつも応援にきてくれていた保護者の皆様、そして両親のおかげだと思います。本当に感謝しています。ありがとうございます!!

ぼくは、そんな最上段という場所をこれからずっと大切にしていきたいと思っます。何かに疲れたときや元気をもらいたいときは最上段に刺激をもらいたいと思っます。最上段は、これからはずっと僕のホームグラウンドです。本当、広島城北サッカー部に入れてよかったです。これからは、OBとしてパソコン越しにずっと広島城北中学、高校サッカー部を応援していきたいと思っます。頑張れっ城北!! 頑張れっキューポン!! 企画を行うこともある。その時にもやはり「一緒に一生懸命活動しよう」と思いながら活動している。その度に広島城北サッカー部で、最上段グラウンドで仲間と一生懸命サッカーをしてきて本当に良かったと思っっている。私は高校を出て大学に入り新たな仲間が出来た。おそらく大学を卒業した後もまた新たに仲間ができると思う。しかし、たとえどんな仲間、どんな組織であつても、「Play Hard Together! Smile Hard Together!」を常に私の指針とし、活動し続けるだろう。それこそ、私が広島城北サッカー部にいたという証であり、広島城北サッカー部で学んだことであるからだ。



20年ぶりの最上段

25回生 土井 康義

皆様はじめまして。今年の初蹴りで挨拶をさせていた...

私は城北高校卒業後は大分の大学に学び、そして就職後は...

私は中学校・高校と6年間サッカー部で汗を流し、高校3年生の時...

私は高校卒業後20年間の間、「最上段」を少し苦しかった時期...

上段に行き、あまりの部員の多さ・活気に感激し、思わず「あのとき...

今、感じている...

19回生 OB会長 吉川 英司

昨日、日本の新しい総理大臣が「菅氏」と決まりました。自分が...

是非、現役の学生達にも高校↓大学へ進んでも高い意識を持ち...

多分、OB諸兄におかれては全国各地にて解説が促されています。

大笑いされてしまいました。それだけ感慨深いものがあつたのです。

歳を重ねるのは早いもので、私も来年は40歳になります。今は非常に忙しい仕事の合間を見て...

20年ぶりに体感した最上段。校舎は当時の面影は薄くなりましたが、最上段は今も20年前と同じままです。

今年、初蹴りで新3年生が「自分達は全国を目指したいです」と胸を張っていました。

者が増えて異論・総論・オブジェクションを繰り返して...

今代表について「ひとこと」個人的に言わせてもらえば...

さて、今年の「初蹴り」にもたくさんOBが来てくれました。

す。いつか我々の夢をかなえてください。私も20年ぶりの最上段で...

また、当会報をお読みのOBの皆様、稚拙な文面で大変失礼をいたしました。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



近況報告

みなさんこんにちは！ 24回生の岩井竜彦です。今年、1月に開催された広島県新人大会においてベスト8進出という成績を残し、幸先のよいスタートを切ることができました。

広島城北高校サッカー部 コーチ 岩井 竜彦

QPONのひとり言

『挑戦』

失敗を恐れて、挑戦しない人生を送るか 挑戦し、成功も失敗もある人生を送るか 挑戦し続ける人生を送りたい。



広島城北高校サッカー部監督 宮本 誠 (19回生)